

研修レポート

名古屋第一赤十字病院 研修医

総合診療科の先生方、看護師、コメディカルスタッフ、事務の方々、各施設の職員の方に大変お世話になり、有意義な4週間を過ごすことができました。ありがとうございました。

新城市民病院での研修では、主に総合診療科の初診外来と救急対応を経験させていただきました。初診外来では、様々な主訴で来院される患者さんの診察、検査、治療を行い、その後のフォローまで担当させていただきました。救急外来での緊急性の判断・治療とは異なり、患者さんごとの生活環境や社会背景まで考えて、治療や経過観察の方法を考えることの必要性、難しさを実感しました。

救急では多くの患者さんの初期対応を経験させていただきました。救急車で来院された患者さんに対して、素早く状況を把握し、必要な検査を考え、治療や入院・転院を考えるという流れで診療しました。普段も救急での初期対応は行っていますが、あまり経験したことのない主訴で来られる患者さんの対応をする機会があり、地域性というものを強く感じました。また、新城の医療圏はとても広く、遠方からの患者さんも多く来院され、来院までの途中に急変するなど、近くに病院があればと悔しい思いをすることもありました。

救急で自分の行った検査・治療に対して、総合診療科の先生方からアドバイスやフィードバックを頂き、とても勉強になりました。今までの自分の診療を振り返り、検査が多かった、勉強が足りていなかったと実感する機会が多かったです。多くの先生方に自分の診療の振り返りをして頂く機会はあまりなかったので、自分の研修先に戻ってからも、研修医同士や上級医と振り返りができると良いと思いました。

病院での研修以外にも様々な施設を見学させていただきました。特に高齢者の多い新城での医療は、1人の患者さんの入院から退院、その後の生活まで、様々な医療スタッフの介入があり、患者さんを支える制度や施設が充実していると感じました。特に印象に残っているしんしろ助産所では、お産だけでなく、妊娠前の指導や出産後のお母さん方の相談にも対応しているというお話を伺い、地域には欠かせない存在だと思いました。

新城市民病院での研修では、地域医療の特性を経験させていただき、総合診療的思考を身につけることができたと実感しています。優しいスタッフにも恵まれ、充実した研修を過ごすことができました。ありがとうございました。